



起筆は蔵鋒で書く

穂先の弾力を利かせて上げはねる



辭 立辭 受辭 受辭

穂先の弾力を利かせてはねる



えんひ 燕尾



蚕頭 shen 蚕頭

えんひ 燕尾

收筆は、払う直前に筆を止め、少し持ち上げてから払う。

唐 顔真卿(七〇九〜七八五) 顔法の技法、倣書で書いてます。 顔真卿の楷書(健中告身帖)は、 縦、横の線の太さ、はね、払いに 特徴があります。雄大で重厚、 向勢でどっしりとした字形です。

辭は達するのみ 文辭の法は達意をもって主とし 必ずしも富麗なるを要しない

(論語)